

令和6年10月号

キャリア教育支援通信



学校と地域が連携し、一体となってキャリア教育に取り組んでいます

えびの市教育委員会では、キャリア教育の充実をめざし、令和7年度にキャリア教育支援センター（仮称）設置において準備しています。

キャリア教育ってよく聞くけど、そもそも何だろう？



キャリア教育は先生に教えてもらえばいいんだよね・・・

キャリア教育とは、**子どもたちが社会的・職業的に自立するために必要な力**を身につけるように支援を行い、社会の中で**自分の役割**を果たしながら、自分らしい生き方が実現できるように積み重ねていく教育です。



キャリア教育を充実させていくためには、**地域の人たちの協力**が大切です。

各学校におけるキャリア教育の取り組みについて紹介します

仕事での
役割

家庭での
役割

地域社会
での役割



上江小
読み聞かせボランティアの方々から、えびのに伝わる民話を楽しく学びました。



飯野小
「えびの音頭」誕生の講話や踊りの指導をボランティアの方々から受けました。



加久藤小
「町たんけん」で、えびの市地域婦人連絡協議会の方に見守っていただきながら、地元の事業所6か所を訪問しました。



真幸小
JA青年部の協力をいただき、田植え体験を実施しました。市内すべての小学校で田植え体験を実施しています。



連絡先 学校教育課キャリア教育支援コーディネーター 宮田 電話：35-3721

■ 飯野高校と中学校が連携した「ひなた場」

飯野高等学校中高連携「ひなた場」では、自分の生き方を考えることを目的に、中学3年生と飯野高校生がお互いに人生を語り合う対話等を行っています。令和4年度より市内すべての中学校で実施しています。

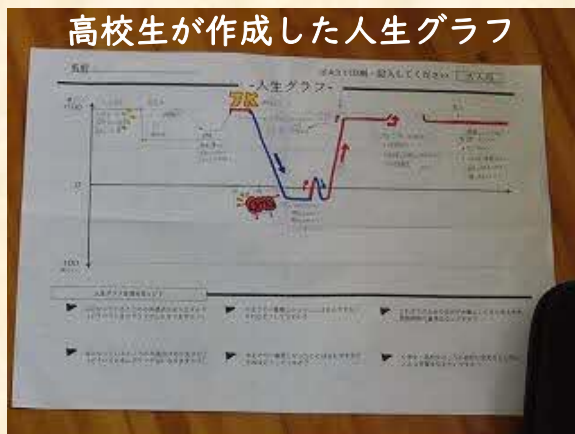
9月に上江中と加久藤中で実施した「ひなた場」の様子を紹介します。（飯野中と真幸中は11月14日（木）に実施予定です。）

【上江中での様子】



高校生が中学生に自分の人生を語る

最初に高校生1人と中学生2～3人のグループを作り、高校生が自らの人生の山と谷をグラフ化した「人生グラフ」を中学生に提示し、これまでの人生を語りました。



高校生が作成した人生グラフ

【加久藤中での様子】



高校生と中学生の1対1の対話

中学生は交代しながら高校生と1対1で語り合いました。中学生が自分の人生グラフについて高校生に語った後、今感じている幸せや悩み、理想の自分等について語り合いました。



高校生による人生紙芝居

1対1での語り合いの間、他の生徒は、高校生の人生紙芝居を聞きました。人生紙芝居では、高校生が、これから目指す進路についてそこに至るまでの感情や考えてきたことを語りました。

<中学生の感想（抜粋）>

- 高校生と話をしてどんな大人になりたいか考えることができた。
- 自分のことを他人に伝えたことがなかったので、うれしかった。
- まだ自分がしてないことにも挑戦してみたいと思った。